

文化財 だより

NO.17
平成30年度

発行 ● 太田市教育委員会 発行日 ● 令和元年8月1日 編集 ● 太田市教育委員会文化財課 (群馬県太田市粕川町520 TEL 0276-20-7090 FAX 0276-52-6080)
● 太田市教育委員会歴史施設課 (群馬県太田市世良田町3113-9 TEL 0276-52-2215 FAX 0276-52-2208)

「曹源寺栄螺堂」が国重要文化財に指定されました！



曹源寺栄螺堂の向拝（正面・東から）

太田市東今泉町にある曹源寺栄螺堂が平成30年12月25日に国重要文化財に指定されました。

栄螺堂は江戸時代に変な人気を博した建物形式で、関東以北に建てられたと言われますが、現存するものは全国でも6棟のみです。その中でも曹源寺栄螺堂は最古級で最大規模の建物です。

江戸時代の庶民による百観音巡礼の様子がわかる貴重な建物として歴史的価値が認められました。



指定書



栄螺堂正面（東から）



1階内部（東から）



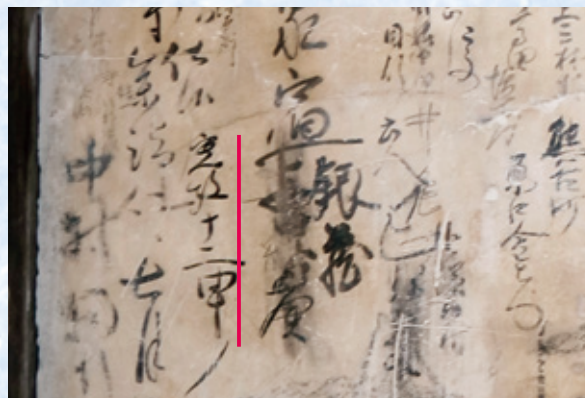
2階内部（東から）



3階内部（東から）



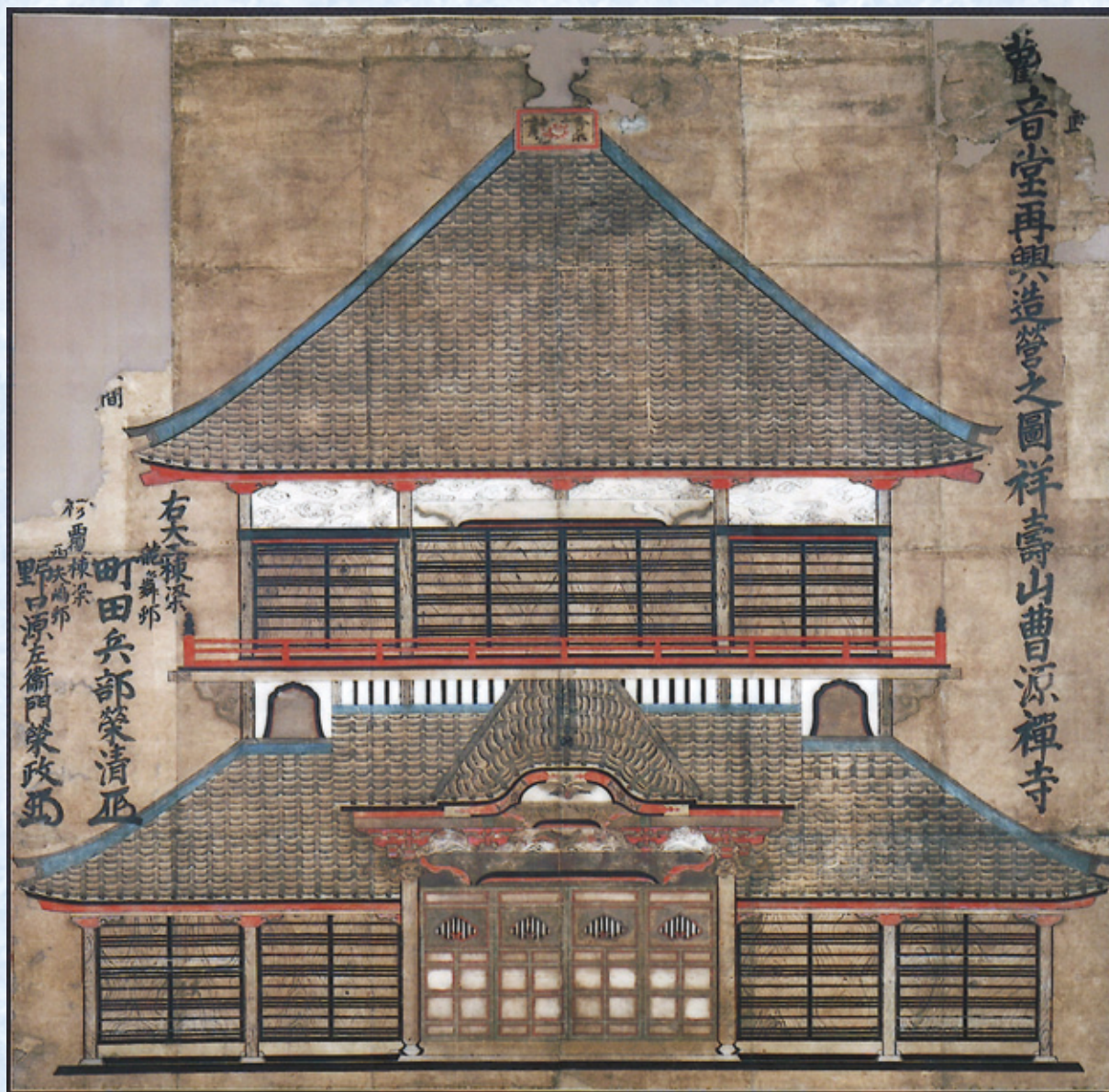
発見された墨書（3階）



「寛政12（1800）年」と書かれた墨書

栄螺堂は、江戸時代後期の安永9（1780）年に江戸の羅漢寺に建てられた三^{さん}匠^{そうどう}堂を起源としています。堂内の1階には秩父34札所、2階には坂東33札所、3階には西国33札所の写し観音が配置されており、拝みながら右回りに上の階に一方通行で登っていくことができます。この参詣形式は、本尊の周りを右まわりに三回廻る仏教の礼拝方式「右^う繞^{によう}三^{さん}匠^{そうどう}」を建築物の形で表したもので、堂内を巡ることで百観音巡礼と同じ功德を得られるとされています。

曹源寺栄螺堂は寛政5（1793）年の建立と考えられていましたが、檀家の方が保管していた史料「曹源寺栄螺堂由緒」〔天保15（1844）年〕に寛政10（1798）年の建立と書かれていました（右ページ参照）。また、平成29年に終了した大規模修理中に参詣者が書き遺した墨書が見つかり、最も古いものは「寛政12（1800）年」と書かれていました。



附（関連資料として重要なもの）に指定された「観音堂再興造營之図」

曹源寺殿寺村良材大居士と奉
修而曹源寺殿と寺號、故の今に法
系通綿たり由緒然、付於今泉
村の内に、後即曹源寺殿の故址に
也。千時寛政十年十月、依布地力
古の六自堂と奉、新再興いたし
覺悟堂と號、新開廣代、而曹源
寺殿と號、阿闍梨の奉、而曹源寺
殿、曹源寺也。諸人拜地、而曹源
寺殿、曹源寺也。諸人拜地、而曹
源寺殿、曹源寺也。諸人拜地、而
曹源寺殿、曹源寺也。諸人拜地、
而曹源寺殿、曹源寺也。諸人拜
地、而曹源寺殿、曹源寺也。諸
人拜地、而曹源寺殿、曹源寺也。
本朝安永諸像堂及大徳、此の修
葺、而曹源寺殿、曹源寺也。諸
人拜地、而曹源寺殿、曹源寺也。
力業修、而曹源寺殿、曹源寺也。
撫古跡、而曹源寺殿、曹源寺也。
曹源寺殿、曹源寺也。諸人拜地、
而曹源寺殿、曹源寺也。諸人拜
地、而曹源寺殿、曹源寺也。諸
人拜地、而曹源寺殿、曹源寺也。
以上

「曹源寺栄螺堂由緒」部分

曹源寺の檀家が保管していた史料。

文中に、栄螺堂が「寛政十年年十亥（十月）」に建てられたと書かれています。この史料により、栄螺堂が寛政10（1798）年に建立されたことが判明しました。



かな やま じょう あと

ボランティア団体による**金山城跡**での活動

金山城保存会

金山城保存会は、毎月第4金・土曜日の午前中に史跡の草刈りや清掃活動を中心とした環境美化活動や、希望する来訪者（事前申し込み）に対して、史跡整備地内を案内するボランティアガイドを行っています。平成30年度には各種団体や太田市立太田高等学校の生徒167人にガイドを行いました。現在、会員募集中です。



金山松・竹を愛する会

金山松・竹を愛する会は、金山で松茸再生を実現するために枝打ちや腐葉土の処理などを行っているほか、不要な竹の伐採と竹炭・竹酢液つくりや、もみじ植栽、お茶栽培を行っています。史跡金山城跡ガイダンス施設では来館者に竹炭・竹酢液を配布（土日限定）して好評を得ています。



史跡上野国新田郡家跡 発掘調査総括報告書

平成24年から平成28年までの発掘調査結果報告と、歴史的価値などを総括した「史跡上野国新田郡家跡 発掘調査総括報告書」を作成しました。

報告書には、これまでの発掘調査で見つかった建物遺構の種類、7世紀後半から9世紀末に至るまで新田郡家の移り変わり、文献資料「上野国交替実録帳」と見つかった遺構との比較、今後の発掘調査への課題などを記載しました。





史跡環境整備

文化財課では、雑草の草刈等を行い史跡等の管理、整備を行っています。特に夏場は雑草の伸びが早く、暑さもあり大変です。綺麗な状態で史跡の見学をして頂けるように環境維持に努めています。



天神山古墳（左）と女体山古墳（右）

その他史跡管理（樹木伐採等）

史跡等の草刈以外に、古墳内にある危険な樹木の伐採や枝の剪定作業、天然記念物の樹木の生育状況の診断を行っています。訪れた皆様に満足して頂けるよう、適切な管理に努めています。

平成30年度には、朝子塚古墳や台源氏館跡の樹木の剪定作業、金山の大ケヤキの樹木診断などを行いました。



台源氏館跡樹木剪定

文化財模擬火災訓練

- と き 平成31年1月27日（日）
午前10時から11時
- ところ 曹源寺栄螺堂（東今泉町）

昭和24年1月26日、国宝の法隆寺金堂壁画が焼失したため、毎年1月26日を「文化財防火デー」と定め、全国的に文化財防火運動が実施されています。太田市でも、毎年「文化財模擬火災訓練」を実施しています。

平成30年度は、東今泉町の栄螺堂で実施しました。栄螺堂は寛政10年に創建された建物で、江戸後期から末期にかけて関東以北で盛んに作られた百観音巡礼に特化した特異な形の仏堂で、平成30年に国重要文化財に指定されました。

訓練は栄螺堂より出火した想定で開始され、消防本部・消防団・関係者の協力のもと、初期消火作業、一斉放水などの訓練が行われました。



初期消火



一斉放水



おおたんの 史跡探検 スタンプラリー

太田市に数多く存在する貴重な文化財を、正しく理解し、より身近に感じていただくため、平成30年度も「おおたんの史跡探検スタンプラリー」を実施いたしました。

小・中学校が夏休みとなる平成30年7月21日から9月2日を実施期間として、市内の文化財所在地や各資料館など合計26箇所にスタンプを設置しました。参加者はガイドマップに載っている地図をたよりに、夏の暑い盛りの中、スタンプを求めて市内各所を巡りました。

スタンプを設置した全26箇所のうち20箇所以上を巡ると修了認定されますが、今回は3,758名の参加申込があり、その内の2,522名が修了認定されました。

修了者には記念品として、「たかじょうくん（市重要文化財鷹匠塙輪）」のイラストがプリントされたハンドタオルが贈呈されました。

また日時・場所を限定して説明会（市内3箇所）を実施しました。説明会は3日間で行いましたが、延べ人数が2,184人、修了者（2箇所以上）825人と、天候が悪い中、多くの方に足を運んで頂きました。

参加者の皆さんには、スタンプラリーを通して太田の歴史を学ぶとともに、家族や友達と一緒に楽しい時間を過ごすことができたのではないかと思います。



修了者記念品（ハンドタオル）



ガイドマップとスタンプ帳



説明会修了記念缶バッジ



スタンプラリーの様子



生品神社境内

スタンプラリー説明会



円福寺境内



長楽寺境内



上野国新田郡家跡



金山城跡



新田荘歴史資料館



「群馬 HANI-1 グランプリ」に太田市から出土した2体の埴輪が入賞しました！

平成30年7月18日から9月17日まで、群馬県の各市町村で出土した選りすぐりの計100体の埴輪から、最も人気のある埴輪を県内外の方々の投票によって決定する「群馬 HANI-1 グランプリ」が群馬歴史文化遺産発掘・活用・発信実行委員会（群馬県文化振興課）の主催で行われました。太田市からは、高林町出土で市指定重要文化財の「高林西原古墳群出土の埴輪人が乗る裸馬」が4位、飯塚町出土で国宝の「^{けいこう ぶ じんはにわ}挂甲武人埴輪」が7位に入賞しました。

4位入賞の「高林西原古墳群出土の埴輪人が乗る裸馬」は、6世紀頃に制作された埴輪です。人が、飾り馬具がつけられていない馬（裸馬）に乗っている姿を表現しています。このような裸馬埴輪は全国的にも類例が少なく、当時の騎馬の風習や文化を知るうえで貴重な埴輪です。現在は群馬県立がんセンターで展示されています。

7位入賞の「挂甲武人埴輪」は、埴輪として唯一国宝に指定されています。6世紀頃に制作され、完全武装した武人を細部まで精巧に表現した埴輪です。人物埴輪の中でも極めて優れており、当時の武人の姿を知ることのできる貴重な埴輪です。現在は東京国立博物館で保管されています。

グランプリの投票で上位10体選ばれた埴輪が歌って踊る「ハニハニ群馬～ぐんまのはにわと踊ろう！～」がYouTubeで公開されています。入賞した2体の埴輪も出演していますので、ぜひご覧ください。



「ハニハニ群馬～ぐんまのはにわと踊ろう！～」



群馬 HANI-1 グランプリチラシ



高林西原古墳群出土の埴輪人が乗る裸馬



挂甲武人埴輪 東京国立博物館所蔵
Image:TNM Image Archives



で まえ こう こ がく きょう しつ

出前考古学教室

文化財課では毎年、市内の小・中学校を対象に地域の歴史・文化を学んでもらう機会として、出前考古学教室を実施しています。学校に出張して土器や埴輪を間近で見て触れてもらい、生徒さんたちに歴史を身近に感じてもらうことを目的としています。

平成30年度は太田市立南小学校と太田市立太田中学校の2校で実施しました。

●と き 平成30年6月15日（金）

●ところ 太田市立南小学校

●参加者 6年生 84人

「歴史再発見～日本とつながる太田市～」をテーマに、太田市が全国に誇れる歴史を紹介しました。古墳時代から律令制に至るまでの太田の歴史を、各時代の遺跡と遺物を紹介しながら授業をしました。また、身近な古墳として、地元にある朝子塚古墳や高林鶴巻古墳群を紹介したことで、生徒さんたちは太田市内にたくさんの古墳があることを実感していました。



教室内の様子



古墳時代の甕や壺、坏、埴などを触れてもらい、土器の質感や重さを知ってもらいました。また、勾玉や人物・馬形埴輪（※人物埴輪はレプリカ）も展示しました。

●と き 平成30年6月25日（月）

●ところ 太田市立太田中学校

●参加者 1年生 105人

「古代の太田市」をテーマに、太田市の古墳時代の様相と現存する見学可能な古墳の紹介をしました。また、最近の発掘調査成果や日頃の文化財課の業務などを通して埋蔵文化財に関わる仕事の魅力をお伝えしました。



授業の様子



教室を使った展示



カマドの模型を使った煮炊きの説明



縄文土器と弥生土器の比較

授業に先立って、教室を利用した出土遺物の展示会を行いました。縄文～古墳時代の遺物を並べ、土器や石器をさわり比べられるようにしました。見学は1年生だけでなく、全学年を対象とし、約200人の生徒さんたちが見に来てくれました。



そり まる い せき

わた ら せ さんぎょうだん ち はつ くつ ちょう さ

反丸遺跡（おおた渡良瀬産業団地発掘調査）

- 調査場所 太田市吉沢町地内
- 調査期間 平成30年4月2日から平成31年3月29日
- 調査面積 約13,000㎡

昨年度に引き続き、おおた渡良瀬産業団地造成に伴う反丸遺跡の発掘調査を実施しました。平成30年度は、遺跡の中央部および西部を中心に調査を行い、その結果、今から約1400年前の古墳時代を中心とした住居跡139軒、土坑347基、溝19条、柱穴1850基を調査しました。遺物も多く、古墳時代の土師器・須恵器や石製品（石で作られた「まつり」の道具）など遺物収納箱で293箱出土しました。

反丸遺跡は、古墳時代の大集落であったことがより鮮明となり、特に石製品を作るための材料などが多く出土することから、石製品の製作に重きを置いていた集落であったと想定されます。

来年度も発掘調査を行い、集落の全体像を明らかにする予定です。



C区空撮（北上空から）



当遺跡に多いカマド（石や土器をカマドの構築材として利用）



石製品の材料が出土した様子



住居内から出土した子持勾玉（一部欠落）



調査をしている様子



にし た じま い せき

西田島遺跡（公共開発）

- 調査場所 太田市下田島町地内
 - 調査期間 平成30年5月16日から6月12日
 - 調査面積 約360㎡
- 宝泉南部土地区画整理事業の道路築造に伴い発掘調査を実施しました。
- その結果、南北に並んで3基の古墳が確認されました。真中の古墳は、墳丘の長軸が約30mの

帆立貝形で、周堀の幅は4m以上あります。前方部の周堀外側の上端部分からは埴輪棺が出土しました。この古墳は、おそらくこの地域の領主の墓と思われます。他の2つの古墳は、墳丘10m程度の円墳で、この遺跡内で点在している古墳とほぼ同じ大きさです。



調査区（中央部南から）

いっ ちょう だ ほり の うち い せき

一町田・堀之内遺跡（公共開発）

- 調査場所 太市新田赤堀町地内
 - 調査期間 平成30年7月18日
 - 調査面積 約15㎡
- 市道の改良工事に伴い発掘調査を実施しました。その結果、古墳時代中期の古墳の周堀2ヶ所、中世の溝2条が確認されました。
- 古墳の周堀については、石塚古墳・宮田稲荷古墳のものと思われる、調査によってこれらの場所が明らかになりました。また、溝は、中世の堀の跡と考えられます。



石塚古墳北側周堀（北西から）



溝（東から）



宮田稲荷古墳周堀（南東から）



東部地区遺跡群（公共開発）

尾島東部土地区画整理事業の道路建設・土地造成に伴って、3回にわたる発掘調査を実施しました。

- 調査場所 太田市岩松町地内
- 調査期間 平成30年7月11日から9月3日
- 調査面積 約615㎡

土地造成を行う部分において調査区を2箇所（A区・B区）設けて発掘調査を実施しました。その結果、A区では掘立柱建物跡1棟、溝1条、土坑3基、柱穴17基が確認されました。また、B区では竪穴住居跡11軒、溝2条、土坑7基、土坑墓1基、柱穴7基が確認されました。竪穴住居跡はいずれも9～10世紀のもので、この地域に平安時代の集落が営まれていたことがわかりました。



A区（東から）



B区（北西から）



土器の製作跡と考えられる住居



カマド付近から出土した埴類

B区の北端で確認された住居は、他と比べて大型で残存状態が良好な土師器・須恵器が大量に出土しています。また、床面から緑色の粘土ブロックが数箇所見つかっており、土器の製作跡であった可能性があります。

- 調査場所 太田市堀口町地内
- 調査期間 平成30年9月4日から9月20日
- 調査面積 約138㎡

道路を敷設する部分について、発掘調査を実施しました。その結果、竪穴住居跡6軒、溝2条、土坑2基、柱穴2基が確認されました。竪穴住居跡は全て6世紀中頃の榛名山二ツ岳の噴火を起因とする洪水堆積層（FP泥流層）を掘り込んでつくられていました。



調査区全景（西から）

- 調査場所 太田市堀口町地内
- 調査期間 平成31年1月29日から2月18日
- 調査面積 約157㎡

道路を建設する部分について、発掘調査を実施した結果、掘立柱建物跡2棟、竪穴状遺構1基、土坑16基、柱穴35基が確認されました。掘立柱建物跡1棟と竪穴状遺構は主軸方向が同一で隣接していることから、同時に存在した施設であったと考えられます。



掘立柱建物跡（手前）と竪穴状遺構（奥）



平成30年度埋蔵文化財最新情報展

- と き 平成30年11月17日（土）から平成31年1月27日（日）
- ところ 史跡金山城跡ガイダンス施設・金山地域交流センター ギャラリー
- 観覧者 4,382人

平成30年度の埋蔵文化財最新情報展は、平成26年度内ヶ島町・龍舞町地域で行われた川向・中西田遺跡発掘調査の遺物整理作業が終了し、発掘調査報告書が刊行されたことを受け、「内ヶ島地域の古代のムラ」というテーマで行いました。

内ヶ島地域の発掘調査は民間開発や竜内土地区画整理事業に伴って昭和54年度から7次におよぶ6,000㎡以上の発掘調査を実施し、古墳時代から江戸時代を中心とする遺構が発見されました。今回は、平成26年度の調査で出土した資料を中心に出土遺物などを展示しました。



展示風景



最新情報展ポスター

出土遺物整理作業

文化財課では、これまで実施した発掘調査の成果を公開するために、出土した遺物の接合や復元、実測、写真撮影等の整理作業を行い、資料化を進めています。平成30年度は駒形神社埴輪窯跡、岩松千歳2遺跡、平成29年度太田市内遺跡などの各調査の整理作業を実施しました。

平成30年度には、平成29年度の各種開発に伴う確認調査をまとめた『太田市内遺跡14』と平成16～17年度に岩松町地内で実施した発掘調査結果をまとめた『岩松千歳2遺跡』を刊行しました。



平成30年度に刊行した報告書



遺物整理作業風景



平成30年度 確認調査一覧表

No.	遺 跡 名	所 在 地	調査期間	開発原因
1	矢田堀古墳群	矢田堀町	H30.4	民間
2	萩林遺跡	藪塚町	H30.4	民間
3	宮元遺跡	由良町	H30.4	民間
4	寺井廃寺	天良町	H30.4	民間
5	狐森古墳群	由良町	H30.4	民間
6	西野西遺跡	藪塚町	H30.5	民間
7	西田島遺跡	下田島町	H30.5	市
8	長福寺遺跡、 下田島遺跡	下田島町	H30.5	市
9	天神山古墳	内ヶ島町	H30.5	民間
10	東矢島古墳群	末広町	H30.5	民間
11	沖ノ林遺跡	東矢島町	H30.5	民間
12	延享割遺跡	泉町	H30.5	民間
13	東部地区遺跡群	岩松町	H30.5	民間
14	茶臼山古墳・石幢・新 田氏累代の墓	別所町	H30.5	民間
15	流作場遺跡	丸山町	H30.6	民間
16	旧常楽寺跡	新田木崎町	H30.6	民間
17	矢場寄合遺跡	矢場町	H30.6	民間
18	東部地区遺跡群	堀口町	H30.7	民間
19	F P 泥流下遺跡群	岩松町	H30.7	民間
20	一町田・堀之内遺跡、 石塚古墳	新田赤堀町	H30.7	市
21	中道遺跡、中道1号墳	新田下田中町	H30.8	民間
22	要害遺跡	新田反町町	H30.8	民間
23	下小林上遺跡	下小林町	H30.8	民間
24	雁子遺跡	新田反町町	H30.8	民間
25	F P 泥流下遺跡群	亀岡町	H30.9	民間
26	天良七堂遺跡	天良町	H30.10	民間
27	今泉城跡	東今泉町	H30.10	民間
28	東部地区遺跡群	岩松町、 阿久津町	H30.10	民間
29	石田川遺跡	米沢町	H30.10	民間

No.	遺 跡 名	所 在 地	調査期間	開発原因
30	福沢新田遺跡	福沢町	H30.10	民間
31	史跡新田荘遺跡（東照 宮境内）	世良田町	H30.10	民間
32	推定東山道駅路溜池地 区、大根西田遺跡	新田上中町、 新田溜池町、 新田大根町、 新田大町	H30.11 H30.12	市
33	寺中遺跡	矢田堀町	H30.11	民間
34	東別所遺跡	東別所町甲	H30.11	民間
35	F P 泥流下遺跡群	粕川町	H30.11	民間
36	向野遺跡	高林東町	H30.11	民間
37	焼山遺跡、焼山古墳群	東長岡町	H30.11	民間
38	大塚遺跡	龍舞町	H30.12	民間
39	北宿遺跡	新田上江田町	H31.1	民間
40	要害遺跡	新田反町町	H31.1	民間
41	唐桶田遺跡	脇屋町、 新田小金井町	H31.1	市
42	間之原遺跡	龍舞町	H31.1	民間
43	鳥山下遺跡	鳥山下町	H31.1	民間
44	東矢島古墳群、東矢島 遺跡	末広町	H31.1	民間
45	FP泥流下遺跡群	粕川町	H31.1	民間
46	東今泉鹿島遺跡	東今泉町	H31.1	民間
47	F P 泥流下遺跡群	阿久津町	H31.2	民間
48	世良田環濠集落	世良田町	H31.2	民間
49	北ノ庄遺跡	由良町	H31.2	民間
50	東部地区遺跡群	岩松町	H31.2	民間
51	西田島遺跡	下田島町	H31.2	市
52	浜町遺跡	本町	H31.3	市
53	新野古墳群	新野町	H31.3	民間
54	市野井新田遺跡	新田市野井町	H31.3	民間

開発に係る調整
平成30年度
事前照合・協議件数等

	公共事業	民間開発	合 計
事前照合・協議	46件	2,332件	2,378件
本発掘調査	3件	2件	5件
確認・試掘調査	7件	47件	54件
学術調査	0件		0件
立会調査	13件	10件	23件
慎重工事	14件	547件	561件
93条届出		558件	558件
94条通知	31件		31件
確認・試掘調査面積	2,320㎡	4,003㎡	6,323㎡
本調査面積	13,375㎡	910㎡	14,285㎡
学術調査面積	0㎡		0㎡



新田荘歴史資料館

太田市世良田町3113-9 ☎0276-52-2215 開館時間／9時30分から17時 ㊟／月曜日

企画展 新田猫

- と き 平成30年7月8日(日)から9月24日(月・振休)
- 入館者 4,014人

新田岩松氏の歴代当主が4代にわたって描き、養蚕が盛んだった上州・武州・信州などでネズミ除けに効果があるとされ、蚕室などに貼られて蚕の神様として信仰されていた猫絵を、展示しました。



企画展図録

☆関連講演会
「新田猫絵」

- と き 平成30年8月25日(土)
- 講 師 落合 延孝氏(群馬大学名誉教授)
- 参加者 59人



落合 延孝氏

平成30年度 長楽寺展 「中国絵画を中心に」

- と き 平成30年10月20日(土)から12月16日(日)
- 入館者 1,681人

長楽寺は、新田氏の祖新田義重の子徳川義季が、承久3年(1221)に臨済宗の祖栄西の高弟栄朝を招いて創建した寺です。新田徳川氏を先祖とする徳川将軍家が境内に東照宮を勧請するなど、先祖の建てた寺として庇護しました。

今回は、長楽寺に伝わる「請来絵画」を中心に、長楽寺と東照宮の宝物を展示し、中近世に繁栄した長楽寺・東照宮の歴史と文化の一端に触れることを目的として開催しました。



長楽寺展チラシ



田中 大喜氏

☆関連講演会1
「義貞・尊氏以前ー鎌倉時代の新田氏と足利氏ー」

- と き 平成30年11月24日(土)
- 講 師 田中 大喜氏(国立歴史民俗博物館准教授)
- 参加者 94人

☆関連講演会2
「新田荘の成立をとらえなおす」

- と き 平成30年12月9日(日)
- 講 師 野口 華世氏(共愛学園前橋国際大学准教授)
- 参加者 65人



野口 華世氏



☆関連行事 「ガイドと歩く紅葉の歴史公園」

- と き 平成30年11月20・21日（計4回開催）
- 参加者 36人
- ガイド 新田荘史跡ガイドの会



散策の様子

体 験

「春のミュージアムフェア」

- と き 平成30年3月24日（土）から5月31日（木）
 - 申込者 276人
 - 修了者 75人
- 市内資料館等7館を巡る、春のスタンプラリーを開催しました。



ゴールデンウィーク・夏休み企画 「キーホルダー作り」

- と き 平成30年4月28日（土）から5月6日（日）
 - 参加者 139人（土・日・休日）
 - と き 平成30年7月21日（土）から9月2日（日）
 - 参加者 585人（土・日）
- プラ板を使い、オリジナルイラストを写し取り、キーホルダーを作りました。



大 隅 俊 平 美 術 館

太田市由良町3051 ☎0276-20-6855 開館時間／9時30分から17時 ㊤／月曜日

第11回企画展 「大太刀」

- と き 平成30年9月30日（日）から平成31年1月20日（日）
 - 入館者 862人
- 重要無形文化財保持者（人間国宝）大隅俊平刀匠が作り上げた、大隅家所蔵の長さ4尺6寸に及び雄大な大太刀を筆頭に、大太刀5口を中心に展示しました。

展示作品説明会

- と き 平成30年10月7日（日）
 - ①11時から12時
 - ②14時から15時
 - 講 師 高野 和也刀匠（大隅俊平刀匠弟子）
 - 参加者 31人
- 展示作品説明を中心に作刀工程等について解説していただきました。



展示の様子



展示説明会の様子



実 演

銘切実演

- と き 平成30年5月5日（土・祝）
①10時から12時
②13時30分から15時30分
 - 実 演 本田 正紀刀匠（大隅俊平刀匠弟子）
 - 参加者 89人
- 刀匠が自身の作品に銘を切るところを公開し、実演終了後には、真鍮プレートに子ども達の名前を切りプレゼントしました。



実演の様子

作刀工程「火造り」

- と き 平成30年10月21日（日）
①11時から12時
②14時から15時
 - 実 演 本田 正紀刀匠（大隅俊平刀匠弟子）
 - 参加者 55人
- 作刀工程の一部「火造り」を実演し公開しました。



実演の様子

ふいご 鞆まつり

- と き 平成30年12月2日（日）
10時から15時
 - 解 説 本田 正紀刀匠（大隅俊平刀匠弟子）
 - 参加者 38人
- 仕事場に鞆まつりの展示を行い、仕事場内を一般開放し、刀匠に解説していただき、終了後、ふいごへの供物を抽選で来館者に振る舞いました。



ふいご
鞆まつりの様子

王朝装束着装実演

- と き 平成31年1月19日（土）
13時から15時
 - 講 師 金井 美由紀氏
 - 参加者 34人
 - モデル 平成30年度ミス八瀬川の深野綾香さん・石島百華さん
- 十二単（女性用）の着装の様子を実演、来館者にも装束を羽織って体感していただきました。



王朝装束着装の様子

作刀実演「折返し鍛錬」

- と き 平成31年3月10日（日）
13時から15時
 - 実 演 高野 和也刀匠（大隅俊平刀匠弟子）
 - 解 説 本田 正紀刀匠（大隅俊平刀匠弟子）
 - 参加者 127人
- 日本刀の作刀工程の一部「折返し鍛錬」を刀匠による解説付きで実演し公開しました。



実演の様子



講座

花結び講座

◆花結び講座 「くさり結びのプレスレットづくり」

●と き 平成30年6月19日（火）から23日（土）

●参加者 55人

◆花結び講座「干支・亥」

●と き 平成30年11月20日（火）から24日（土）

●参加者 28人

◆ワークショップ

「結び遊び～平結びのストラップづくり～」

●と き 平成31年2月19日（火）

●参加者 27人



くさり結びのプレスレット



平結びのストラップ



干支・亥

花結び講座の様子（講師 大隅 優子氏）

藪塚本町歴史民俗資料館

太田市藪塚町149 ☎0277-78-5728 開館時間／9時30分から17時 ㊟／月曜日

藪塚本町歴史民俗資料館では、平成30年度に展示替えを行いました。

現在の展示は、「よそおう・かざる」、「つくる（作る）」、「移住する」、「とむらう（弔う）」、「うみだす」などのテーマを設け、アクセサリー（耳飾りや勾玉など）、土器や埴輪など発掘調査で出土した考古資料や民具を展示しています。このほか、古代の役所（郡庁）としては国内最大の規模を誇る「史跡上野国新田郡家跡」から出土した遺物を中心に太田市の古代を紹介するコーナーもあります。

また、「プチ発掘体験「やぶれき遺跡」」という発掘調査の模擬体験コーナーも新しくつくり、小学生にも好評を博しています。



2階展示室内の様子



縁切寺満徳寺資料館

太田市徳川町385-1 ☎0276-52-2276 開館時間／9時30分から17時 休／月曜日

第32回三くだり半企画展 「地域で異なった三くだり半」

- と き 平成30年9月8日（土）から10月28日（日）
- 入館者 2,473人

三くだり半は地域によって、特徴的な内容・形式がみられます。今回はその地域によって異なった三くだり半に注目し、広領域に及ぶ差異から狭領域（ごく限られた地域）にみられる特徴を明らかにしました。

講演会「地域で異なった三くだり半」

- と き 平成30年9月30日（日） 午後2時から
- 講 師 高木 侃氏（縁切寺満徳寺資料館名誉館長）
- ところ 縁切寺満徳寺復元本堂
- 参加者 43人



展示の様子

三くだり半企画展 展示説明会

- と き 平成30年10月6日（土） 午後2時から
- 講 師 高木 侃氏（縁切寺満徳寺資料館名誉館長）
- ところ 縁切寺満徳寺資料館
- 参加者 29人

高木 侃名誉館長



縁切寺満徳寺資料館室内コンサート

クラシックギターコンサート

- と き 平成30年10月27日（土） 午後2時から
- ところ 縁切寺満徳寺復元本堂
- 演 者 莊村 清志氏（ギター奏者）
- 参加者 83人



莊村 清志氏

琵琶語り、邦楽演奏を楽しむ会

- と き 平成30年10月28日（日） 午後2時から
- ところ 縁切寺満徳寺復元本堂
- 演 者 仁 恵依舟（仲林 光子）氏
仲林 利恵氏
- 助演者 すなが寿々女氏、永嶋秀夫氏、神保佐香枝氏
- 参加者 77人



琵琶・語り 仲林 光子氏、笛 仲林 利恵氏

縁切寺満徳寺資料館大衆文化講座「落語」

縁切寺で落語講演 〈柳家はん治親子会〉

- と き 平成30年11月17日（土） 午後2時から
- ところ 縁切寺満徳寺復元本堂
- 演 者 柳家 はん治師匠
柳家 小はぜさん
- 参加者 66人



柳家 はん治師匠



特別展「江戸の婚活－出会いから結婚まで－」

- と き 平成30年11月3日（土・祝）から
平成31年1月14日（月・祝）

- 入館者 2,081人

今回の特別展は、法政大学講師（学術博士）の小泉吉永氏監修のもと、「江戸の婚活－出会いから結婚まで－」と題して、江戸時代における婚礼の松竹梅、仲人ビジネスから、失敗しない結婚や再婚の心得まで、双六・絵本・女訓書・往来物・婚礼マニュアルが伝える江戸の結婚事情を紹介しました。



展示の様子

講演会「江戸の婚活－江戸の婚礼関連書」

- と き 平成30年11月11日（日） 14時から
- 講 師 小泉 吉永氏（法政大学講師）
- ところ 縁切寺満徳寺復元本堂
- 参加者 16人



小泉 吉永氏

特別展 展示説明会

- と き 平成30年11月11日（日） 11時から
- 講 師 小泉 吉永氏（法政大学講師）
- ところ 縁切寺満徳寺資料館
- 参加者 18人



太田市細谷町1324-7 ☎0276-32-5632 開館時間／9時30分から17時 休／月曜日

企画展「高山彦九郎日記『利根路の秋旅』」

- と き 平成30年3月24日（土）から9月9日（日）
- 入館者 2,750人

「利根路の秋旅」は、安永4（1775）年7月8日から7月22日、高山彦九郎の曾祖父の法事に江戸から来た祖叔父を、彦九郎が利根川・江戸川を舟路で江戸に送り、江戸に5日間滞在中山道を陸路で帰郷する15日間の旅日記です。日記の原本やパネルなどの展示により、彦九郎の人間性や旅人としての口マンを堪能できる企画展としました。



展示の様子

講演会「利根川の水運と東日本」

- と き 平成30年6月23日（土）14時から
- 講 師 川名 禎氏（國學院大學兼任講師）
- ところ 新田荘歴史資料館 学習室
- 参加者 55人

高山彦九郎日記「利根路の秋旅」にみる利根川の船旅、江戸時代と水運、利根川の河岸と船、上利根川の河岸と荷物、中・下利根川の河岸と荷物、変わりゆく利根川の水運、近代の利根川水運などの内容でご講演をいただきました。



川名 禎氏



史跡 金山 城跡 ガイダンス 施設

太田市金山町40-30 ☎0276-25-1067 開館時間／9時から17時 ㊤／月曜日

ギャラリー展示

企画展名	期 間	来 場 者
第3回日本100名城展 四国の名城	平成30年3月24日 から5月13日	4,308人 ※4月1日以降
曹源寺さざえ堂展 曹源寺さざえ堂保存修理事業の概要	平成30年5月26日 から7月8日	3,427人
江田館はどこに？展 一江田館跡の実像に迫る！	平成30年7月14日 から9月9日	6,452人
第7回篆刻展 「明治維新著名人の印模刻展」	平成30年9月15日 から11月4日	2,711人
平成30年度埋蔵文化財最新情報展 「内ヶ島地域の古代のムラ」	平成30年11月17日 から平成31年1月27日	4,382人
猫絵の殿様、鍾馗を描く一新田岩松氏の 絵画展	平成31年2月9日 から3月17日	2,701人
日光例幣使が帰った道一步いて、見て、 感じる 日光街道展	平成31年3月23日 から4月21日	776人 ※3月31日現在



日本100名城パネル展（四国）



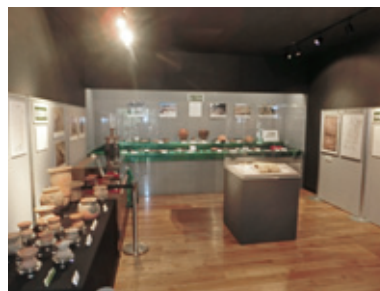
曹源寺さざえ堂展



江田館はどこに？展



篆刻展



埋蔵文化財最新情報展



「猫絵の殿様、鍾馗を描く」展



「日光例幣使が帰った道」展



体験学習

教室名	実施日	回数	講師	受講者
つまみ細工教室	平成30年5月12日(土)・19日(土)・ 11月27日(火)・12月4日(火)	2回	栗原千鶴子氏	62人
草木染講座Ⅰ	平成30年6月15日(金)・10月5日(金)	2回	板野千恵氏	20人
日本茶の美味しい入れ方	平成30年6月16日(土)	1回	斎藤一郎氏	20人
草木染講座Ⅱ	平成30年6月27(水)・28(木)・ 29日(金)・11月22日(木)(午前・午後)	5回	文化財課	46人
篆刻教室	平成30年6月30日(土)・10月13日(土)	2回	龍舞篆会	20人
親子草木染講座 (藍を使ってバンダナ染)	平成30年7月25日(水)(午前・午後)	2回	文化財課	23人
金山合戦(事前学習・模擬合戦) (模擬合戦は雨天のため軍配作りに変更)	平成30年7月27日(金)・29日(日)	2日	文化財課	34人 (のべ65人)



つまみ細工



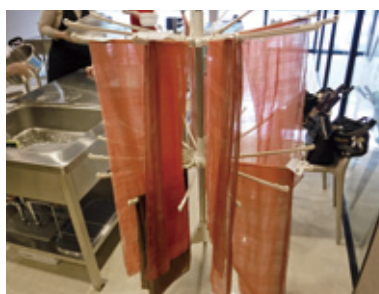
草木染Ⅰ(バラの花)



草木染Ⅰ(クローブ)



日本茶の入れ方



草木染Ⅱ(茜)



草木染Ⅱ(藍)



篆刻教室



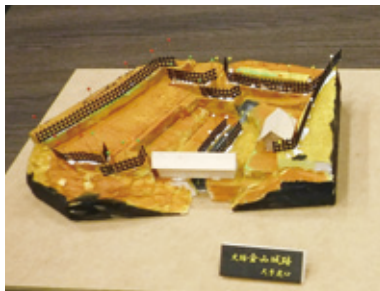
親子草木染(藍)



金山合戦(軍配作り)



教室名	実施日	回数	講師	受講者
金山工作教室 —作ってみよう金山城	平成30年8月7日(火)	1回	文化財課	20人
金山茶道教室	平成30年9月7・14・21・28 日(金)・10月12・19・26日(金)・ 11月2・9・16日(金)	10回	高橋芳子氏	10人 (のべ 92人)
金山城跡を歩こう —金山城の歴史を学ぶ	平成30年11月3日(土・祝)	1回	文化財課	19人
金山茶会 一秋を楽しむ— (金山茶道教室のおさらい会として)	平成30年11月23日(金・祝)	1回	高橋芳子氏	65人
繭玉細工講座	平成30年12月14日(金)	1回	板野千恵氏	12人
日本茶と珈琲の美味しい入れ方	平成31年1月26日(土)	1回	矢島許子氏	19人
シルクコサージュ作り教室	平成31年2月9日(土)	1回	栗原千鶴子氏	12人



金山工作教室（金山城大手虎口）



金山茶道教室



金山城跡を歩こう



金山茶会



繭玉細工（亥）



日本茶・珈琲の入れ方



シルクコサージュ作り



歴史講演会等

第21回金山歴史講座

- と き 平成30年8月26日（日）
- 演 題 建物跡から見た江田館像
- 講 師 飯森 康広氏（群馬県埋蔵文化財調査事業団）
- 参加者 68人



飯森 康広 氏

第22回金山歴史講座

- と き 平成31年3月10日（日）
- 演 題 新田岩松氏の絵画を読み解く
- 講 師 板橋 春夫氏（日本工業大学教授）
- 参加者 62人



板橋 春夫 氏

第23回金山歴史講座

- と き 平成31年3月23日（土）
- 演 題 越山^{えつざん} 一上杉謙信の城攻め—
- 講 師 岩田 明広氏（埼玉県立嵐山史跡の博物館）
- 参加者 65人



岩田 明広 氏

